

令和5年度 第2回徳島市立図書館協議会 会議録要旨

- 1 日時 令和6年3月22日(金) 14:00~15:30
- 2 場所 徳島市役所本館13階 第一研修室
- 3 出席者 委員 委員長 三木 鈴江 (家庭文庫代表)  
副委員長 和田 初枝 (四国大学日本文学科 准教授)  
委員 米原 貴美枝 (助任幼稚園 園長)  
板東 恵子 (徳島市社会教育委員長/徳島市婦人会連絡協議会会長)  
諏訪 公子 (徳島市人権教育・啓発推進協議会 講師団講師)  
美馬 秀夫 (徳島市議会文教厚生委員会 委員長)  
竹内 紘子 (日本児童文学者協会 徳島支部長)  
藤森 圭二 (徳島市・名東郡PTA 連合会 会長)  
福島 吉美 (徳島市少年を守る母の会 会長)  
露口 悦之 (徳島県立図書館 館長)
- 事務局 市教委(社会教育課)吉岡係長 堤主査 板東主事  
図書館(指定管理者)國金館長、廣澤副館長、清水副館長、渡部副館長、  
菊本部署責任者、岸本部署責任者、前川営業部次長、  
多田エリアマネージャー

4 議題

(1) 令和5年度の事業報告について

副館長より説明。

質疑応答

- 委員 様々な活動をなさっていることに敬意を表したい。いつ図書館へ行っても活気に満ちていることが感じられ非常に嬉しい。
- 広報活動について、2月17日付け読売新聞「読書の達人・司書のこれ絶対読んで」のところに廣澤副館長の話、3月に広島県立図書館の司書の方の話が載っている。廣澤副館長だけでなく、その元で皆さんが良くやっていることがわかる。徳島市全体がこの図書館を誇りにしても良いと思う。眉山が見える閲覧室なども素晴らしい。本日、報告された子どもの利用者のこともそうですが、大人の利用者も非常にリラックスでき、友人はバスを利用して図書館へ行っている。皆様のご尽力に対して感謝している。

(2) 令和6年度の事業計画(案)について

副館長より説明。

質疑応答

- 委員 前半に令和5年度の活動報告から始まり、令和6年度の事業計画における図書館のミッション・市民についてのお話も素晴らしいと思っている。そのうえで市政や行政

へ図書館に対する要望や問題点があればご指摘いただきたい。

事務局 要望として、アンケート調査から得られた利用者の声より、駐車場について頻繁に上がっている。整備上も難しいとは思いますが、利用者の声としては多い。こちらの対応として検討しているとお伝えはしているが、大きな課題ではある。サービス面について、イベント・講座の参加者には必ずアンケートをとっている。講座内容に関してのご意見ご感想の他、図書館についても併せて聞き取りをしている。図書館へのご要望を含めた利用者様の生の声を聞きながら、事業内容を計画していきたい。

委員 駐車場や交通の便は非常に大切な問題と思う。図書館移転についても長い議論の末に急に決まってしまったところもあったくらいだった。現在、市全体として音楽ホールやアリーナなどの施設を全体的に動かす案もある。現在の図書館の場所も良いが、今後は別の施設との合体、新たな場所に移すなどということも大局的な問題であり、こういった審議会などの場で現場の声として意見を述べられてみても良いと思う。

#### 質疑応答

委員 長男がよく本を読むのでいずみ号を利用させてもらっている。先日、学校で協議をした際、やはり子どもたちが図書室を利用する頻度が下がっているようだった。また学校自体の所蔵も貧困になっていて、予算自体もつかない。しかし、国語離れは文字を読むことによって緩和できると思う。読書がとても大切だということも理解しているが、親御さんや子どもたちもそれを認識できていない部分もあるのではないかと。また、南井上小学校では児童増加につき教室が足りないために、図書室を会議室にしてしまっており、利用しづらい状態になっている。

個人としていずみ号の日程を把握し利用しているが、小学校やPTAと連携をして学校へいずみ号の移動図書館車を派遣するのはどうか。本とのふれあいができるようなセッションを組んでいただければ、徳島市の子どもたちは読書に対する興味や意欲が伸びるのではないかと。PTAも協力するし、資金面でもお話し合いができればと思う。ぜひご検討いただきたい。

事務局 学校図書館に関して、徳島県全体でも学校図書館の充実を唱っている。県の事業だが、図書館サポーター養成講座なども開催し、学校図書館充実を目指しているのが感じられる。市としても、いずみ号を本館から遠い地域へ巡回させていただいており、学校へも巡回ステーションとして利用させていただいている所もある。

コロナ禍以前は、いずみ号の日程や人員配置の面から年に1回程度ではあるが、遠方の学校への訪問を行っていた。いずみ号で訪問し、図書館全体の紹介や校区内の巡回地の案内をさせていただいた。残念ながら現在はコロナ禍のため一旦停止しているが、また状況をふまえて学校訪問や図書館のPR活動ができればと思う。

それから、学校向けの団体登録していただき、団体貸出サービスもある。個人であれば20点までの貸し出しだが、学校団体として登録していただくと、より多くの冊数を借りることができる。教室に本を設置し朝の読書の際などにもご活用いただき、子どもたちの目に触れ、すぐ手に取れるような環境整備等、学校を通して呼びかけて

整えていただければ良いと思う。

子どもたちにとってすぐに本を手にとれるということが読むことへ向けての第一歩になる。図書館としてサポートしていければと思う。

また、「この本だいすき」という冊子を、小学生向けに作っている。どういった本を読んだら良いのかという疑問に対する参考になるかと思う。冊子に載っているものは市立図書館や県立図書館に所蔵があり、学校図書館にもあるかもしれない。こういったブックリストも活用いただきながら、子どもたちの読書習慣の形成に役立てていただければと思う。

#### 質疑応答

委員 　　いずみ号は月に何か所巡回しているのか。

事務局 　現在、市内82か所巡回している。

委員 　　利用者は多いか。

事務局 　巡回地によって利用人数の幅はあるが、たくさんの方にご利用いただいている。

委員 　　在宅送本の件についてだが、動けない程ではないが体の不自由な知人がいる。いずみ号の日程が分かれば、その時に借りに行くことができる。そういった方への案内を充実してもらえれば良いと思う。また、本館まで行くのが大変なので、町の本屋やスーパーの帰りなどに立ち寄れるような、身近なところにある図書館の分館のようなものがあれば便利だという議題は以前からあがっている。

図書館としての事業には感心している。

事務局 　在宅送本については、該当される方はお申し込み等手続きをしていただければ、本をご自宅までお届けするサービスが利用できるので相談してほしい。

移動図書館については、巡回日程をホームページへ掲載しており、また紙媒体で配布をしているのでご覧いただければ有難い。移動図書館は皆様のお住まいの近くにある巡回ステーションまで本を届けるという取組であり、3,000冊程度を乗せた大きなバスで伺うので、本を選ぶ楽しみも感じていただけるかと思う。82か所のステーションがあるため滞在時間は30分となっているが、先々の日程まで公開しているのでぜひご活用いただきたい。

委員 　　いずみ号のステーションではボランティアの方々のお世話になっているのか。

事務局 　いずみ号での対応は指定管理スタッフが対応している。巡回ステーションについて、徳島市のサポートもありマルナカなどスーパーの広い駐車場をお借りしているところもある。利用者の方が車を止めやすいようなステーションも少しずつ増やしつつ運用している。以前は73か所程度だったが現在は82か所まで増えた。

徳島市内には、地区ごとに1箇所以上はステーションがある。南矢三地区にはマルナカ矢三店、国府地区にはセブン日開店、南島田地区にはキョーエイタクト店などがある。スーパーは人気があり、多いところであれば30分間に50名以上の利用がある。団地内などの巡回地は、場所自体が狭いため近所の方の利用がほとんどになり人数は少なめである。図書館をより身近に感じていただけるよう努めていく。

質疑応答

- 委員 事業計画においての市政の反映・地域貢献に関する取り組みとして、多方面に渡って  
いて有難い。図書館ではマイナンバーカードの普及促進までしているのか。
- 事務局 利便性を高めるために対応させていただいている。